

南部中学校だより

R8・8・26

第5号

文責：角

日常への「感謝」を胸に、「挑戦」する2学期へ

校長 坂口 隆

例年になく厳しい暑さが続いた約1ヶ月の夏休みが終わり、学校に生徒たちの元気な声が戻ってきました。夏休み中は、体育祭の準備のために登校する生徒や「夏休みまなびルーム」や「図書館」にて真剣に学習に取り組む姿が見られるなど、それぞれが充実した時間を過ごしたことと思います。また「自主学習タイム」では、本校の卒業生（高校生や社会人）が来校してくださり、勉強のサポートをしてくださいました。保護者の皆様ならびに卒業生の皆様、夏季休業中の温かい見守りとご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、古典の『方丈記』の冒頭に次のような一節があります。

『ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず』

私たちの日常は川のように一見、昨日と同じように絶え間なく続いているように見えますが、決して不変のものではないということを教えてくれる言葉です。

この夏休み期間中、日本列島は7月末に最大震度7を記録した「令和8年熊本地震」、8月中旬に最高警戒レベルである「大雨特別警報」が発令された「令和8年8月千葉豪雨」など相次ぐ自然災害に見舞われました。どちらもこれまでの想定を遥かに上回る規模の災害であっただけでなく、連日の体温超えを記録する酷暑の中でライフラインが寸断されるなど、被災地の日常生活に多大な影響を与えました。

被災地の日常生活が一瞬にして一変する姿を目の当たりにし、今なお不自由な生活を余儀なくされている方々がいらっしゃる現状に、この言葉の持つ意味を改めて深く考えさせられます。

近年では、このような甚大な災害を目の当たりにし、被害を完全に防ぐ「防災」だけでなく、被害を最小限に抑える「減災」という考え方が広まっています。学校としても改めて災害への危機意識を高め、有事の際の被害を最小限に抑えると同時に、このように安全に過ごせている「日常」が決して当たり前ではないこと、その日常への感謝の気持ちを、生徒と共に改めて大切にしていきたいと考えております。

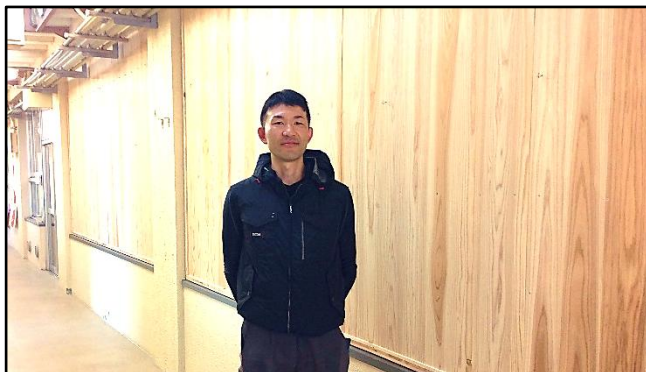
2学期は、9月12日開催の体育祭をはじめ、多くの行事が控えています。生徒の健康や安全管理に万全を期し、安定した学校生活を送ることができるよう、全力を尽くしてまいります。

今学期も「感謝」と「挑戦」をキーワードに掲げ、周囲の人々や日々の生活に感謝する心を育むとともに、多くの行事を通して自ら挑戦する気持ちを育て、その挑戦する姿を応援していきたいと思っています。今学期も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

*裏面に続きます。

*渡り廊下の掲示板を修繕していただきました！

8月3日、4日、5日の3日間、南部中学校区学校運営協議会委員の「能勢さん」を中心に、大内さん、雑賀さんの三人の方々に標記の掲示板を修繕していただきました。標記の掲示板は経年の劣化で掲示板の継ぎ目が盛り上がり、掲示物が貼り付けられない状態になっていました。このような状況を能勢さんに伝えたところ



【修繕のおわった掲示板と能勢さん】

「時間がとれたときに学校に修繕に行きます」と快いお返事を頂きました。掲示板は3日間の作業の後、きれいに修繕され、新しい木の香りがとても心地いいです。

学校施設の修繕を学校運営協議会委員の方々にお願いできる・・・、改めて南部中学校がコミュニティースクールとしてCS委員さん達に支えられている学校であることを実感した3日間でした。ありがとうございました。

県吹奏楽コンクールについて

8月8日（土）に米子市公会堂で標記のコンクールが開催されました。息の合った演奏でしっかり練習してきた様子が伝わってきました。3年生は本コンクールで部活動を引退となりますが、部活動で培った協調性や継続する力をこれからの学校生活にも活かしてください。

【吹奏楽】

*全日本吹奏楽コンクール
鳥取県大会 小編成部門 銅賞

【お知らせ】環境整備作業にご協力をお願いいたします。

1 学期末に文書でもお伝えしていますが、8月29日（土）午前6時50分より体育祭に向けてグラウンド及び校舎周辺の環境整備作業を行います。除草の他、生徒用等のテント設営など、当日は多くの保護者の方々のご協力をお願いいたします。

【訂正】7月23日発行の学校だよりについて

標記の期日に発行しました学校だよりを「第6号」と記していましたが正しくは「第4号」です。訂正してお詫びいたします。